

関係者各位

(公社)広島県労働基準協会

11月13日～15日開催
「第83回全国産業安全衛生大会 in 広島」
特別講演は Deportare Partners 代表 為末大氏に決定！

中央労働災害防止協会（略称：中災防、会長 十倉雅和・日本経済団体連合会会長）は、令和6年11月13日（水）～15日（金）の3日間、広島県広島市で「第83回全国産業安全衛生大会」を開催します。【別紙1】

広島での開催は平成26年以来、10年ぶりで、広島県立総合体育館、広島国際会議場のほか、市内の施設において総合集会および分科会を開催します。会期中は全国の企業・団体・教育機関等から10,000人を超える参加者を見込んでいます。

今回のテーマは「変わる時代に 変わらぬ誓い 安全・健康・平和な未来」です。

初日の総合集会では、為末大氏（Deportare Partners 代表／元陸上選手）が「熟達しつづけるために」と題して特別講演を行います。組織も人も熟達をすることでより良い成果をあげることができ、熟達を通してより良い人生を歩むことができるという考えを基本に、熟達を助けるコミュニケーションのほか、個人の熟達・組織の熟達を5段階のプロセスに分けてお話しいたします。

2日目、3日目の分科会では有識者による専門的な講演40本のほか、化学物質の自律的管理や治療と仕事の両立支援をテーマにしたシンポジウム等、職場の労働災害防止や健康づくり等に取り組む企業・団体・教育機関による研究発表を150本予定しています。

<予定している講演、シンポジウム等の内容と演題>（一部）

- オタフクソース株式会社 代表取締役社長 佐々木 孝富氏
「社員が活躍できる環境整備の重要性～オタフクソースの理念と様々な取り組みについて～」
- 神奈川大学 客員教授 松本 桂樹氏
「上司・先輩が知っておきたい「イマドキの若者」の価値観・仕事観とは？」
- 筑波大学人間系心理学域 准教授 藤 桂氏
「“孤”をつなぎ、“個”を活かす職場へ～職場でのユーモアと心理的安全性の観点から～」
- NAOSH コンサルティング 代表 中原 浩彦氏
「化学物質の自律的管理の仕組み構築と化学物質管理者への期待」
- パネルディスカッション
「化学物質の自律的管理 化学物質管理者の活躍に向けて」
- シンポジウム
「治療と仕事の両立支援」

（裏面に続く）

分科会の構成（予定）は次のとおりです。

全国産業安全衛生大会 分科会構成

- (1) マネジメントシステム・リスクアセスメント分科会
- (2) ダイバーシティ等分科会
- (3) 安全管理活動分科会 (①～③)
- (4) DX等分科会
- (5) 機械・設備等の安全分科会
- (6) 安全衛生教育分科会
- (7) ゼロ災運動分科会
- (8) 労働衛生管理活動分科会
- (9) 化学物質管理活動分科会
- (10) メンタルヘルス・健康づくり・健康経営分科会

○ 参加者専用の閲覧サイトでは、現地開催プログラムとは別に、オンライン限定プログラムとして企業・団体等による研究発表を約 60 本ご覧いただけます。

また、国内最大の安全衛生保護具・機器等の総合展示会「**緑十字展**(りよくじゅうじてん)2024 -働く人の安心づくりフェア-」を広島県立広島産業会館において同時開催します。**【別紙 2】**

入場無料で、会期中は約 15,000 人の来場を見込んでいます。特別企画展「中四国ビジネスマーケット」では、中四国エリアの企業各社が出展します。全国から訪れる来場者との商談の場であるとともに、地元の他企業・異業種との情報交流の場となります。

全国産業安全衛生大会は、「全国産業安全大会」として 1932(昭和 7)年に開催して以来、働く人の安全・健康の確保と労働災害の撲滅を目的として、労働安全衛生に関する最新の情報を提供しています。詳細は**【別紙 3】**をご覧ください。

講演やシンポジウムの詳しい内容、参加申込案内などの最新情報は「全国産業安全衛生大会特設ウェブサイト」にて順次公表されます。

<https://jisha-taikai2024.com/>

【主催者】 特別民間法人 中央労働災害防止協会
【協力】 公益社団法人 広島県労働基準協会
【照会先】 公益社団法人 広島県労働基準協会
事務局長 横山 鉄幸
顧問 齋藤 俊治
(電話) 082-221-0725